

第1学年 生活科学習指導案

場所 生活科ルーム 1年1組教室
授業者 中川 しげみ

1 単元名 「つくろう あそぼう」

2 単元について

内容(6)「自然や物を使った遊び」

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、その面白さや自然の不思議さに気がつき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

内容構成の具体的な視点

オ生産と消費 カ情報の交流
キ身近な自然とのふれ合い ク時間と季節
ケ遊びの工夫 コ成長への喜び
サ基本的な生活習慣や生活技能

本単元は、前単元の秋の移り変わりや実りを見つける『たのしいあきいっぱい』を発展させ、身近にある廃材などをとり入れて、おもちゃづくりや遊び方を工夫し、みんなで一緒に遊びを楽しむことが単元の目標となっている。

児童はこれまで、どんぐりやまつぼっくりなどを拾うことはあっても、そうした自然のものを利用し、工夫や改善を加えて遊ぶ経験は十分でないと思われる。そこでまず、簡単なおもちゃづくりをみんなでいっしょに十分に触れさせたい。そして、その中から生まれた小さな気付きや工夫をおもちゃづくりに活かすことを表現ととらえ、つくったおもちゃを使ってみんなで遊ぶ活動へとつなげられるよう、児童の願いを大切にしながら単元を仕組みたい。

また、これまで一人では使ったことのない道具（例えば錐など）も使う。児童の手は、未熟であり、思いをよく聞きながら必要な支援をし、願いをかなえていく。道具を安全に使えるよう使い方の約束や置き場所など、環境の設定に十分配慮したい。

これらの活動を通して、児童が自ら身近な環境に働きかけ、遊びの面白さや自然の不思議さや、仲間と関わりながら楽しく工夫し遊ぶことができる自分自身や友達のよさ、成長に気付かせていきたい。

3 研究にかかわる本時の意図

研究内容1 教材化の在り方と単元構成の工夫

①意欲的に対象と関わる ことができる教材開発

一人一人の願いをもとに主体的な活動ができるよう、単元の出口を見据えながら学習過程を展開し、『自分でつくる・工夫を加える』『仲間と一緒に遊び、さらにおもちゃや遊び方に工夫・改善を加える』『自分より幼い子を招いて関わりながら楽しむ』という単元全体の流れを児童自身がとらえながら活動を進められるようにする。

研究内容2 学習活動の工夫

①児童の願いが明確になる 導入の工夫

前時までの簡単なおもちゃづくりの終末で考えた工夫を交流し、数や向き、長さを変えるとこのようなヒントを得て、おもちゃづくりの発想を広げられるようにする。

②気付きの質を高める活動の工夫

自分がつくっているおもちゃのよさを友達に紹介したり、同じおもちゃをつくっている仲間の工夫を自分にも取り入れてみようと考えたりできるように、願い別グループで中間交流させる。友達のおもちゃを見ることで、同じおもちゃでも、多様な遊び方ができることに気付けるようにする。

③次の活動への意欲と願いをもつことができる 終末の工夫

自分のおもちゃの面白いところや工夫したことをやって見せたり、友達にやってもらったりして交流し、感想やヒントをもらって、さらに自分のおもちゃをよりよくしたいと願いがもてるようにする。

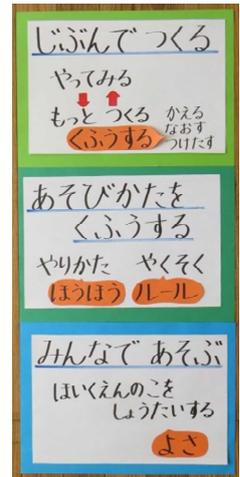
研究内容3 評価と指導・援助

①一人一人の学習状況に応じた指導・援助の工夫

「どうすると面白くなりそうか」「なぜ、うまくいかないのか」とおもちゃを通して、願いや思いを語れるように声かけをし、教え合いを大切に活動ができるようにする。

②児童が自らの成長に気付く自己評価の工夫

本時のめあては「なかよしマン」「はっけんマン」で自己評価し、自分のよさに気付けるようにする。



4 本時のねらい

自然の色や形を味わいながら、自分でおもちゃをつくり出す面白さや、遊ぶことの楽しさに気が付き、繰り返したり試したりしながら工夫してつくることができる。

5 本時の展開 (3時/全11時間)

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助						
願 い を も つ	<p>1. 前時までに作ったおもちゃから、さらに工夫したいことを発表し、「～を使って～をつくらしてみたい。」「もっと～にしたい。」を確認する。</p> <p>《願い別グループ》</p> <p>①けん玉 ②的入れ・的あて ③魚釣り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入れるところの向きを変えて、難しいけん玉をつくりたい。 ・葉っぱで魚をたくさんつくって、魚釣りを楽しくしたい。 <p>2. 課題を確かめ、活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> アイデアいっぱいの たのしいおもちゃを つくろう </div> <p>見つけよう…工夫したことや面白いところを見つけよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の願いがかなうように通信などで、単元の意図を伝え、協力を依頼して材料を準備する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈本時までの児童の意識〉 おもちゃをもう少し工夫して楽しいおもちゃにしたいな。</p> </div>						
活 動 す る	<p>3. 工夫しておもちゃをつくる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">①けん玉</th> <th style="width: 33%;">②的入れ・的当て</th> <th style="width: 33%;">③魚釣り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・入れるところを2つつくろう。 ・うちわの上にいるんなカップをおこよう。 ・糸の長さや太さは、どれぐらいがいいかな。 ・どんぐりやまつぼっくりの大きさを変えよう。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・入れるところを増やそう。 ・大きさを変えてもおもしろそうだ。 ・投げるものを変えてみよう。 ・缶を使って入ったとき音がするとおもしろい。 ・的に点数を書こう。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・色や大きさを変えよう。 ・クリップや磁石、マジックテープなど釣り方を変えてみよう。 ・つりやすさを変えてみよう。 </td> </tr> </tbody> </table>	①けん玉	②的入れ・的当て	③魚釣り	<ul style="list-style-type: none"> ・入れるところを2つつくろう。 ・うちわの上にいるんなカップをおこよう。 ・糸の長さや太さは、どれぐらいがいいかな。 ・どんぐりやまつぼっくりの大きさを変えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入れるところを増やそう。 ・大きさを変えてもおもしろそうだ。 ・投げるものを変えてみよう。 ・缶を使って入ったとき音がするとおもしろい。 ・的に点数を書こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色や大きさを変えよう。 ・クリップや磁石、マジックテープなど釣り方を変えてみよう。 ・つりやすさを変えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の活動場所・道具の場所・遊ぶ場所など活動場所の範囲を指導し、環境を整える。 ・側面に前単元で見付けた葉や実の名前図鑑を掲示し、葉や実の名前を確かめられるようにする。 ・中間交流は、願い別グループごとに行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準</p> <p>★自分のおもちゃの楽しさを紹介できる。 (気付き)</p> <p>★集めた自然物の中から、使ってみたいものを選び、試したり、見立てたりして、工夫しながらおもちゃを作っている。 (思考・表現)</p> <p>◇行動観察・つぶやき・つくったおもちゃ・自己評価</p> </div>
①けん玉	②的入れ・的当て	③魚釣り						
<ul style="list-style-type: none"> ・入れるところを2つつくろう。 ・うちわの上にいるんなカップをおこよう。 ・糸の長さや太さは、どれぐらいがいいかな。 ・どんぐりやまつぼっくりの大きさを変えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入れるところを増やそう。 ・大きさを変えてもおもしろそうだ。 ・投げるものを変えてみよう。 ・缶を使って入ったとき音がするとおもしろい。 ・的に点数を書こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色や大きさを変えよう。 ・クリップや磁石、マジックテープなど釣り方を変えてみよう。 ・つりやすさを変えてみよう。 						
振 り 返 る	<p>4. 片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくったものをかごに入れる。 ・所定の場所に片付けたり、置いたりする。 ・ゴミを分別して捨てる。 <p>5. てくてく交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、的の数を増やしてみました。やってみてください。 ・いろんなところをねらえて、面白かったです。 <p>6. 活動を振り返り、めあてに対する評価（はっけんした・なかよくできた）をし、「〇〇マン」で今日のがんばりを認め合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は「発見マン」です。けん玉の糸は、短すぎても長すぎても入れにくいです。 ・私は、「なかよしマン」です。うまくできなかったわけを友達に教えてもらってつくることができました。 <p>7. 教師による評価をし、次時への意欲付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと、～を変えて、遊びたい。 ・他の班の子が作ったおもちゃで遊びたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子もおもちゃについて話す機会をもてるように、自由交流をする。 ・自由交流をもとに、今日の活動を振り返ることができるようにする。意図的に指名する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈出口の児童の意識〉 もっと、～の工夫をしたいな。自分や友達のつくったおもちゃで遊びたいな。</p> </div>						

6 単元構成表

「つくろう あそぼう」

	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
単元の目標	身近な自然物を使って、遊びに使うものをつくったり、遊んだりすることに関心を持ち、みんなで楽しく遊ぶことができる。	自然物や身の周りにあるものを利用して、遊びに使うものを工夫してつくり、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊ぶことができる。	自然物を利用して遊んだり、遊びに使うものをつくったりすることの面白さや、自然の不思議さ、秋の自然物を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。
評価標準	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで集めた葉や木の実に関心をもつことができる。① 集めた葉や実の特徴を生かしたおもちゃをつくらうとしている。②③ つくったおもちゃを使って、仲間と楽しく遊ぶことができる。④⑩ 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた自然物の中から、使ってみたいものを選び、試したり、見立てたりして、工夫しながらおもちゃをつくらうとしている。②③④ 実際に遊ぶ中で、みんなが楽しく遊べるように考えている。⑤⑥ 遊びのルールや約束を工夫している。⑦⑧ 相手が園児であることを考えて、おもちゃや遊びのルールを工夫して、いっしょに遊んでいる。⑨⑩ 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のおもちゃの楽しさを紹介できる。③④ 友達のおもちゃのよさに気付ける。⑤⑥ 遊びのルールや約束を工夫すると楽しく遊べることに気付ける。⑦ 自分たちが、園児を楽しませることができたことが分かり、自分自身の成長に気付ける。⑪

<単元前の児童の意識>

拾った葉や実を使って、もっと遊びたいな。楽しいおもちゃをつかって、保育園の子を招待して、楽しく遊ぶおもちゃをつくりたいな。

気付けたい内容	活動内容	具体的な視点
<p>集めた葉や木の実、身の回りの材料を使って、おもちゃをつくり出すたのしさや自然の不思議さに気付く。</p>	<p>集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料だけを使って遊ぶ。①</p>	<p>キ) 身近な自然との触れ合い 身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃづくりを楽しむ。</p>
<p>つくったおもちゃの遊び方を工夫すると、みんなで楽しく遊べることや、友達のおもちゃには、自分のものとは違うよさがあることに気付く。</p>	<p>おもちゃやを工夫してつくりながら遊ぶ。②</p>	<p>ク) 時間と季節 オ) 生産と消費 身近にある物を利用して作ったり、繰り返し大切に使用したりすることができるようにする。</p>
<p>つくったおもちゃで園児と遊ぶことで、人と関わることの楽しさや自分の成長が分かる。</p>	<p>自分がつくったおもちゃを改良したり、つくるおもちゃを変えたりしながら遊ぶ。③④</p>	<p>カ) 基本的な生活習慣や生活技能 道具の使い方を知り、安全に使うことができる。</p>
	<p>つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるように、つくり方や遊び方を工夫する。⑤⑥</p>	<p>ケ) 遊びの工夫 遊びに使う物を作ったり遊び方を工夫したりしながら、楽しく過ごすことができるようにする。</p>
	<p>おもちゃを改良したり、遊び方を工夫したりして、みんなで遊びを楽しむ。⑦</p>	<p>カ) 情報と交流 意見を仲間と交流させながらより楽しい遊び方を考えることができる。</p>
	<p>活動を通して気付いたことを振り返り、伝え合う。⑧</p>	<p>コ) 成長の喜び 自分でできるようになったことや生活での自分の役割が増えたことなどを喜び、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつことができるようにする。</p>
	<p>園児に楽しく遊んでもらうためには、おもちゃや遊び方を、どう工夫したらよいかを話し合い、おもちゃを改良したり遊びのルールを変えたりする。⑨</p>	
	<p>園児といっしょに、おもちゃで楽しく遊ぶ。⑩</p>	
	<p>気付いたことを話し合う。⑪</p>	

<単元後の児童の意識>

落ち葉や木の実を使っておもちゃのつくり方や、遊び方を工夫してみんなで楽しく遊ぶことができたな。保育園の子に優しく教えたり、一緒に楽しんだりできてうれしいな。